

# 泳げる荒川の復活をめざして

## —あらかわ遠泳大会—プレ大会

9月16日(土)15:00 泳ぎだし

入水：足立区緊急船着場（小菅）

上陸：虹の広場（北千住）【予備日9月17日】



昭和6年頃 荒木良二氏撮影  
千住新橋下の水連場



### 受付ボランティア募集中！

荒川河川敷に  
思い思いの  
フラッグを持って  
応援にいきましょう！



荒川下流では放水路通水後わずか6年目にして、水練教室が12ヶ所もあったといえます。

多くの方が荒川で泳いでいました。戦後、昭和25年頃までは泳げたそうです。戦後の産業振興と共に川は汚れて泳げなくなり、たくさんあった貸しボート屋さんも廃業していきました。



荒川放水路  
通水100周年記念

—百年の想い 100年の未来—

現在では、都の下水道普及率100%となって水質改善が進み、水質も向上してきました。荒川で泳げる環境が復活してきたことをアピールし、その水質を確保し続けるためには、どうしたら良いのか？ごみを捨てないこと、廃水に気を遣うこと、多自然川づくりを進めていくことなど、流域の方たちと共に実践していきたい。

主催：NPO法人あらかわ学会（荒川放水路通水100周年事業市民実行委員会）

後援：国土交通省荒川下流河川事務所

問い合わせ・ボランティアスタッフ申し込み [info@arakawa-gakkai.jp](mailto:info@arakawa-gakkai.jp)

※この事業は、（公益財団法人）河川財団の助成を受けて実施しています。

# なぜ上流に向かって泳ぐのか？ 泳ぐのはイノシシのコース！？

2019年10月の台風19号を覚えていますか？  
グランドも緊急用河川敷道路も冠水してしまいました。  
荒川下流河川事務所は、隅田川へ通じる岩淵水門を閉め、  
すべての水を荒川放水路に流して首都東京を守りました。

その後、12月に入ってイノシシが荒川下流に出現して、  
ニュースになりました。イノシシは、小菅で追い立てられて  
翌日、千住新橋右岸の虹の広場で目撃されました。

イノシシはなぜ、下流ではなく上流に向かって泳いでいったのでしょうか。  
この時、ちょうど満ち潮になっており、川の流れが上流に向かっていたので。  
荒川は、海に近いので毎日2回、引き潮と満ち潮を繰り返しています。  
満月の大潮には、この差が2mもあるのです。  
カニやシジミ採りに夢中になっていて溺れないようにしましょう。



荒川左岸小菅から千住新橋右岸  
の高層建物「学びピア」を望む

## 来年は、荒川放水路通水100周年

流域平均3日雨量が500mmを超えると荒川氾濫の危険がまじかに差し迫ってきます。

荒川下流河川事務所制作のフィクションドキュメンタリーをご覧ください。

[フィクションドキュメンタリー「荒川氾濫」 H29 3 改訂版 - YouTube](#)

今、一人一人にできることを考え実践していきましょう  
上流の森林を守り、使っていくこと  
田んぼや池を守り、流域の貯留能力を高めておくこと  
雨水を貯め利用していくこと  
大雨の日はふろ水を下水に流さないこと など



- 14:45 開会式 小菅駅5分 荒川河川敷の足立区緊急船着場  
来賓挨拶 国土交通省荒川下流河川事務所長 出口桂輔氏  
主催者挨拶 NPO法人あらかわ学会監事 鈴木 誠氏
- 14:55 準備体操開始
- 15:00 泳ぎだし 隊列を組んで平泳ぎで進みます
- 15:20~30頃 虹の広場に到着・上陸

受付・出迎えスタッフ募集中です！！

大会事務局に9月10日までにお申し込みください。

問い合わせ・ボランティアスタッフ申し込み [info@arakawa-gakkai.jp](mailto:info@arakawa-gakkai.jp)